



2023 運 (さざなみ)



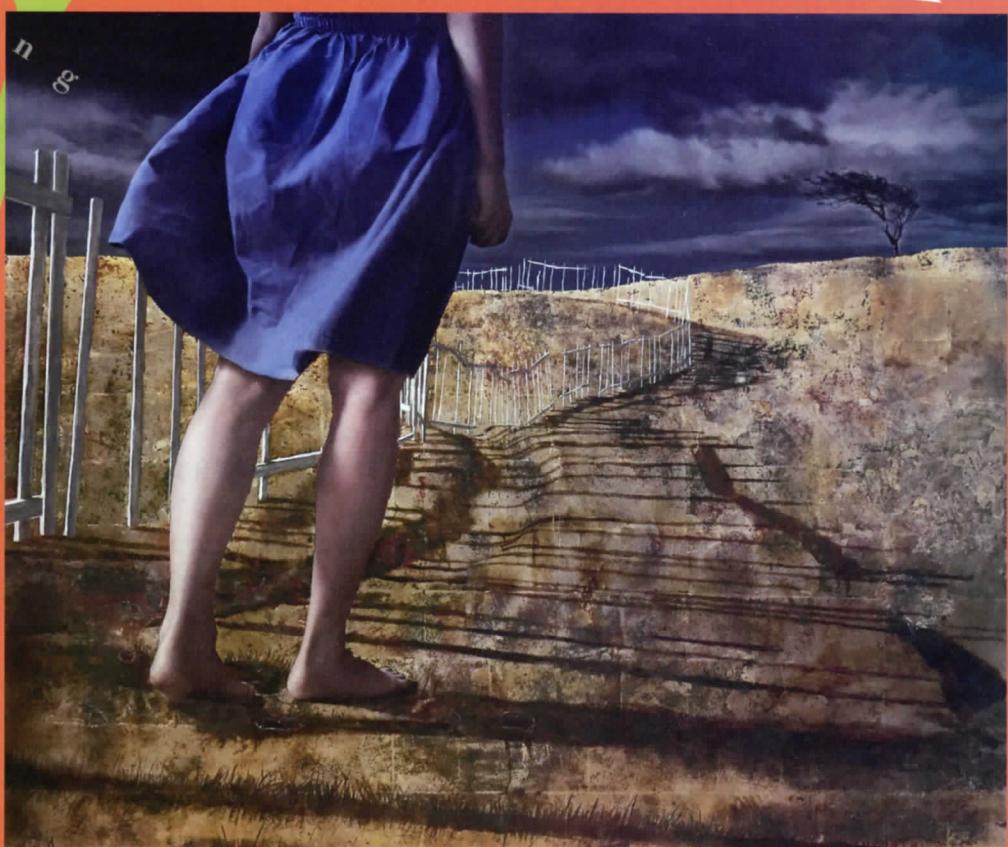
高畠 徹伸

〔写真〕

h o t o g r a p h y

第29回 2025
石岡市企画展

令和7年10月31日〔金〕→11月5日〔水〕
●午前10時～午後4時まで *最終日は午後3時まで
会場／石岡市八郷総合支所 1階「郷の風」石岡市柿岡5680-1

星 美加
〔洋画〕

2018 運る地

【問い合わせ】石岡市教育委員会 文化振興課 文化芸術担当

住所：〒315-0195 石岡市柿岡 5680 番地 1

電話：0299 (43) 1111 内線 1453 FAX：0299 (43) 1117

【主催】企画展実行委員会・石岡市教育委員会 [後援] 茨城県・石岡市文化協会

写真に興味を持ったきっかけは小学校5年生の頃、新聞に「列車転覆」と大きく掲載されていた見出しだした。その様子を詳しく知りたくて記事を読み始めましたが、読めない漢字が多くて理解することが困難でした。その記事の左側にあった蒸気機関車が横倒しになって線路から外れている写真を見て「百聞は一見にしかず」と思いました。

それから写真の力に興味を持ち、注意深く写真を見るようになり、目の前にある写真が何を表現しているのかを読み取る努力をしていました。

創作活動を始めたのは18歳位からで、足掛け60年以上飽きずに行なっていますが、その難しさを痛感しています。

創作活動の主なテーマは、人生の喜怒哀楽やわびさびを表現することです。昨今ではプライバシーにも気を遣いながら、アート的な作品作りも進めています。

1943 東京都に生まれる
1966 埼玉県展「悲しみの列」埼玉県知事賞

1968 全日本写真連盟埼玉県本部に入会

1970 アサヒカメラ誌 課題写真の部 年度賞1位

1970 アサヒカメラ誌 特別コンテスト『万国博をカラーで写そう』「らくがきコーナー」2位

1976 アサヒカメラ誌 自由写真の部 年度賞2位

1976 アサヒカメラ誌 創刊50周年記念 特別コンテスト「春が来た」優秀賞

1985 全日本写真連盟茨城県本部に入会

1999 茨城県芸術祭美術展覧会「フルーム」奨励賞

2000 茨城県芸術祭美術展覧会 会友推举

2003 茨城県芸術祭美術展覧会「記憶の壁」会友賞

2004 茨城県芸術祭美術展覧会 会員推举

2014 茨城県芸術祭美術展覧会 運営委員推举

2017 茨城の美術セレクション 2017・2019・2021・2023 出展

2021 茨城県芸術祭美術展覧会「先見えぬ……」

2022 茨城県現代作家美術展 2022・2024 出展

2024 茨城県芸術祭美術展覧会 参与推举

2024 土浦市主催『ソチウラ・モノクローム』展に「我が街土浦」14点 出展

2024 IPA 茨城写真家協会主催『茨城のトップフォトグラファー展』14点を招待出展

現在 茨城県芸術祭美術展覧会 参与
全日本写真連盟茨城県本部 事務局長
土浦市美術展委員会 委員

ごあいさつ

今年は55年ぶりに再び万博が大阪にやってきて盛況のうちに終了間近となりました。そのような中で第29回石岡市企画展が例年通り文化の日を中心に10/31(金)～11/5(水)の6日間で開催することになりました。

出展をお願いしたのは、写真の高畠徹伸さんと洋画の星美加さんのお二人です。

高畠徹伸さんは10歳の時に出会った写真画像に興味を持ち、18歳から撮影を続けてきました。前の大阪万博の年、大阪万博写真特別コンテストで2位受賞をし、この年のアサヒカメラ誌モノクロ写真・課題写真の部で年度賞1位受賞にも輝きました。その後実績を重ね、独自の切り口でとらえる時事写真やテーマ写真が業界で高く評価されてきました。最近では2022年第12回・2024年第13回現代茨城作家美術展「現美展」に選抜された数少ない写真の部の一人として注目されました。現在土浦市に在住し、茨城県芸術祭美術展覧会参与、全日本写真連盟茨城県本部委員を務めておられます。

星美加さんは筑波大学芸術学群で学び博士号(芸術学)を取得し、現在石岡市内に在住して育児をしながら絵画制作を続けています。2008年全国絵画公募展「雪梁舍フィレンツェ賞展」で第10回記念特別賞受賞、2011年昭和会展で松村謙三賞受賞、同年二紀展で二紀賞を受賞しています。人物や心象風景など独自のテーマを持ち大胆な構成で描く注目の作家です。文化庁新進芸術家海外研修員制度でイタリアにて学んだテンペラ技法を絵画制作の中に取り入れ表現を深めています。銀座の画廊や美術館などから企画展として出展依頼が来るほどで今後ますます楽しみな作家です。

異常気象、収まらない感染症や世界情勢の不安定さ、それらに伴う物価高騰など不安とストレスが増すばかりの日常生活が続いているが、お二人の力作を鑑賞することで元気が出たり心に安らぎを感じたりしていただけたら幸いです。

石岡市企画展実行委員長 磯山 芳男

18歳で大学進学を機に神奈川県から茨城県に移り住み、娘の出産をきっかけに石岡市で暮らし始めて13年になります。

地域に根ざした発表活動をしたいと思っていたところ、このたび石岡市の企画展へ出品のお話をいただき、大変光栄で嬉しく感じております。

これまで「記憶」や「時間の経過」をテーマに、風を感じさせるモチーフを取り入れた絵画制作を続けてきました。最近では、日本画で使われる和紙や銀箔といった素材を、卵テンペラや油彩などの西洋絵画技法に取り入れる新しい試みにも取り組んでいます。また、日本の伝統的な絵巻物に見られるような平面的な構図も参考にしています。

本展では2013年から現在(2025年)までに二紀展へ出品した大作を中心に10点前後を展示いたします。作品それぞれが持つ物語や空気感を感じ取っていただければ幸いです。

1979 神奈川県生まれ

2003 第5回雪梁舍フィレンツェ賞展入選(‘04優秀賞、‘08第10回記念特別賞)

2005 二紀展初入選(以降毎年／‘08奨励賞、‘11二紀賞、‘17準会員賞)

2007 第12回うしく現代美術展(以降毎年、牛久市中央生涯学習センター)

2010 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程修了

2011 第46回昭和会会展 松村謙三賞(日動画廊／銀座)

2012 石岡市に移住

2013 文化庁新進芸術家海外研修員(イタリア・フィレンツェ、1年)

2015 開館2周年記念特別企画展「新世代アーティストー星 美加ー」(市立岡谷美術考古館)

2018 第6回雪梁舍「風の会」フィレンツェ賞展受賞作家展

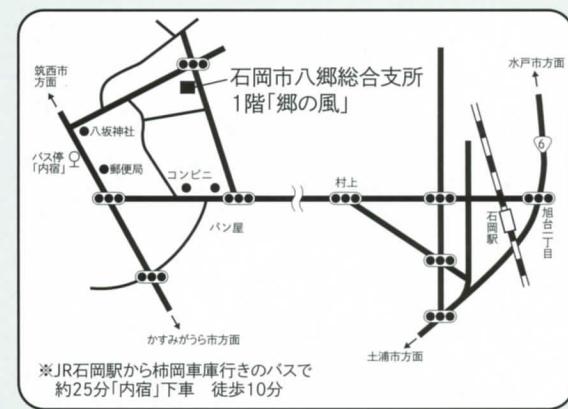
(Accademia delle Arti del Disegno／フィレンツェ)

2018 個展 "le memorie del vento" (Il Bisonte Gallery／フィレンツェ)

2022 星美加展 一風の記憶(公益財団法人佐藤美術館)

2024 AWANO 夢咲くART FESTIVAL 2024(鹿沼市立旧栗野中学校)招待作家

現在 二紀会会員、筑波大学芸術系 助教



“がんばろう石岡”明るい未来を信じて!

【企画展実行委員】

赤羽根 登志子・飯塚 照江・磯山 芳男・小野瀬 和子・菊地 美代子・栗田 徳子・桜井 紀美子・桜井 すみ江・鈴木 京子・高橋 佳代子・永瀬 満雄(50音順)

◎問い合わせ

石岡市教育委員会文化振興課

TEL. 0299-43-1111 内線1453